

1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス

- 震度
- 震度 7
 - 震度 6 強
 - 震度 6 弱
 - 震度 5 強
 - 震度 5 弱
 - 震度 4
 - 震度 3 以下

<震度別面積割合>

(参考) 総面積 = 22.7km²

	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	0.0	0%	0.0	0%
6 強	4.0	18%	0.0	0%
6 弱	18.7	82%	3.5	15%
5 強	0.0	0%	19.2	85%
5 弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス

- 液状化危険度
- 極めて高い
 - 高い
 - 低い
 - 極めて低い
 - 計算対象層なし
 - 計算対象外

<液状化危険度別面積割合>

(参考) 総面積 = 22.7km²

	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	0.3	1%	0.1	1%未満
高い	0.3	1%	0.2	1%未満
低い	0.3	1%	0.2	1%
極めて低い	6.0	26%	6.3	28%
計算対象層なし	15.9	70%	15.9	70%
計算対象外				

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

2. リスク評価

(1) 人的被害

※季節・時間帯：冬・深夜

(2) 建物被害

※季節・時間帯：冬・夕方

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1	定量評価項目	L2	L1	定量評価項目	L2	L1
死者数 (人)	約20	-	全壊・焼失棟数 (棟)	約600	約30	炎上出火件数 (件)	-	-
うち建物倒壊等	約20	-	うち揺れ	約600	約30	残火災件数 (件)	-	-
うち津波	-	-	うち液状化	-	-	津波火災発生件数 (件)	-	-
うち急傾斜地崩壊等	-	-	うち津波	-	-			
うち火災	-	-	うち急傾斜地	-	-			
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-	うち火災	約90	-			
重傷者数 (人)	約50	-	半壊棟数 (棟)	約1,400	約200			
軽傷者数 (人)	約300	約30	うち揺れ	約1,400	約200			
建物倒壊等による 自力脱出困難者数 (人)	約100	-	うち液状化	-	-			
津波被害による 要救助者数 (人)	-	-	うち津波	-	-			
津波被害による 要搜索者数 (人)	-	-	うち急傾斜地	-	-			
			ブロック塀等の 転倒数 (件)	約200	約10			
			自動販売機の 転倒数 (件)	約10	-			
			屋外落下物の 発生数 (件)	約50	-			

概観 (理論上最大クラス) 【ハザード評価】

県内の沿岸市町と比べて地震動は小さいものの、全域で震度6弱以上となり、員弁川沿いを中心に、液状化が発生する可能性があります。

【リスク評価】

揺れによる建物の全壊や火災による焼失被害が発生し、古い家屋を中心に建物の倒壊等による死傷者や自力脱出困難者が発生します。

※「-」：わずか (5未満)

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。